

## 労務委員会

### アマダにおけるグローバル化に伴う人事労務管理諸施策の事例紹介と展示場見学



2月15日、株式会社アマダにて「アマダにおけるグローバル化に伴う人事労務管理諸施策」についての事例紹介と、展示場およびFORUM246の見学をさせていただきました。事例は、労務委員会の委員長である同社取締役兼常務執行役員総務・人事本部長の阿部敦茂氏よりご説明をいただきました。

必要とされるグローバル人財の定義は、板金製品における高い専門性、知識に加え人間力、ビジネス開発力のほか、論理的思考、情報収集力と分析力、意思決定力もしくは経営層が意思決定する

際の材料が提供できる力など。

アマダは長らくドメスティックな面があったが、新興国への展開等の新しい経営戦略に際し人的資源の対策も行った。まず新興国における開発・製造機能の強化に対し、①職種ごとに適任人事の実行、②次世代に繋げるプログラムの構築、③新興国での人事制度の改訂等に取り組んだ。③は明確な報酬制度や評価制度、昇格制度、福利厚生制度を整備し、将来の自己のキャリアを明示した。事業領域の拡大に対しては、ブランドメイキングも可能なトップ・ミドルマネジメント候補人財を確保し（中途採用）、商品開発およびマーケティングに必要なメーカー（工作機械）経験者を採用。さらに中国・インドそれぞれに、マネジメント・就業規則・採用・評価制度・報酬・能力開発等のテーマについて課題を洗い出し対策を行った。

事例紹介と見学を終了した後、委員会のメンバーにて、今年度の委員会活動報告や来年度の委員会活動計画審議についての労務委員会と懇親会を行い終了した。（文責 事務局）